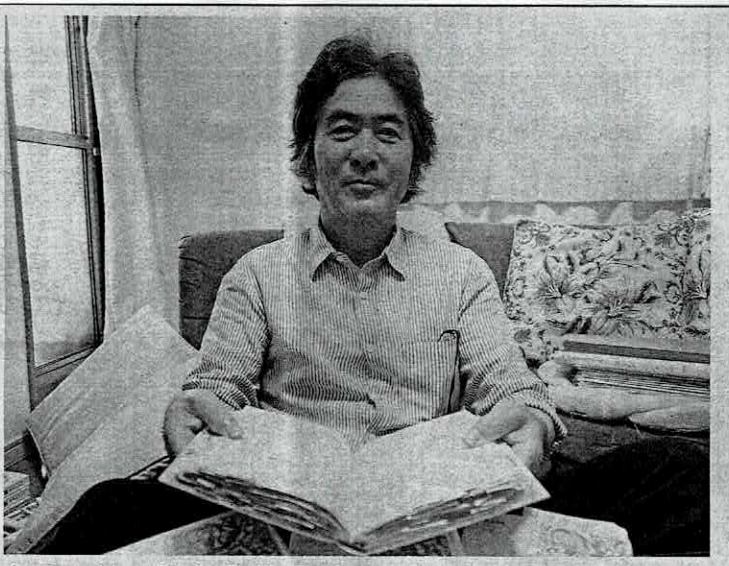
国際詩人協会で優秀賞

武西さんの創作の日々

ロシアと「二重奏」の詩集

本紙連載コラム「伸ばす子どもの書く力」（土曜日付、隔週）でおなじみの岩出市の詩人、武西良和さん（71）が、日本国際詩人協会（JUNPA）賞2019の優秀賞を受賞した。日常生活や農作業で心を打たれたことをもとに独自の詩の世界を紡ぎ出し、元小学校教員として児童への国語の指導にも取り組んできた武西さん。受賞の喜びや創作の舞台裏を聞いた。



愛読する万葉集を手に武西さん

3月3日、京都市内で開かれたJUNPA設立7周年記念国際詩祭で受賞セレモニーがあった。

同協会は、紛争や難民問題などで揺れ動く国際社会の人間性の回復を目指す詩人の団体。武西さんはロシアの詩人、ヴェチェスラウ・クプリヤノフさんと詩集『鉄の二重奏』を共作し、今回の詩祭で作品を朗読。クプリヤノフさんによる朗読も行われた。

クプリヤノフさんは、オセアニア、アフリカなどの四大陸の苦難に満ちた歴史を表現した「オデュッセイアの歌」、武西さんは、夜通し休みなく働く工場のポンプを生き物の内臓に見立てた「染色工場の心臓」などを朗読し、東西の詩人が響き合う対話の世界が展開された。

クプリヤノフさんの朗読に「地の底から言葉が湧いてくるようだ」と感じたという武西さん。自身も、一週間の半分は紀美野町で取り組んでいる農作業から、力強い詩の世界が生まれてくることを思い、共感を抱いた。

武西さんの創作は、日々の暮らしや旅先などで、心を打たれたことを手帳にメモをすることから始まるという。年間に2、3冊のペースで詩作のヒント集は増えていくが、インド旅行に出掛けた時は約1週間で3冊にもなり、「詩のエリアが広がっていくことが面白いですね」とほほ笑む。

また、8年ほど前から万葉集を読み込むようになり、心に刺激を与えてくれる骨を拾う箸の目線をものとして楽しんでいる。収められている歌を味わっていると、「時を超え、万葉人がすぐそばにいるようだ」。

万葉集の古代人だけでなく、接するものや動物、自然に自身を投影するような作品が、武西さんには多い。3月には、NPO法人日本詩歌句協会主催の第13回中部大会詩の部で中日新聞社賞に輝き、受賞作「骨の誘惑」でも、父の葬儀で遺骨を拾う箸の目線を交え、故人を悼む心情を描いた。

詩の創作は「ドキドキワクワクする」。武西さんは創作の楽しみを伝えようと、国語の教師として、児童にさまざまな課題で作文を指導してきた中で、「作文が好きになった」という感想が最もうれしかった。

武西さんは、実年齢より10歳若い骨密度の診断を受けられたのも農作業のおかげと笑顔を見せる。詩人と同時に「農夫」を名乗り、健康な体と詩想を育みながら、詩作との両輪の生活はこれからも続く。

記念国際詩祭で朗読する武西さん㊧とクプリヤノフさん

ICAN創設者講演
23日核防止医師の会

核戦争防止和歌山県医師の会は、核兵器廃絶を求める運動の今後について考える講演会を23日午後6時から、和歌山市北出島のプラザホープ2階で開く。

2017年のノーベル平和賞を受賞した国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」の創設者の一人で、オーストラリアの医師のティルマン・ラフさんが来日し、「核兵器禁止条約、ICANの果たした役割と今後」と題して講演する。

ヒバクシャ国際署名をすすめる和歌山の会（仮称）が共催。参加無料、申し込み不要。問い合わせは同医師の会（☎073・436・3766）。

横断歩道は歩行者優先

県警がステッカーで啓発

横断歩道での歩行者優先を徹底しようと県警は15日、トラックやバス、タクシーなどの運輸関係団体に「STOP！横断歩行者妨害」と書かれたオリジナルステッカー約3000部を贈呈し、協力を呼び掛けた。

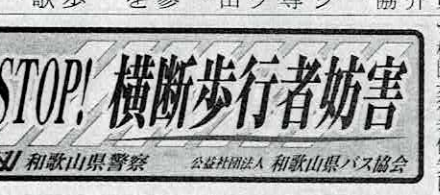
県警は昨年のJAF（日本自動車連盟）が実施した「信号機のない横断歩道における歩行者優先について」の調査で、県内の車の一時停止率が1・4％と全国平均の8・6％を大きく下回るワースト3位だったことなどを踏まえ、取り組みを強化してきた。ステッカーは各団体の車両後方に貼り付けて、一時停止を啓発する。

贈呈式は同市西の交通センターで行われ、県トラック協会の阪本享三会長、県バス協会の久保洋介会長、県タクシー協会の川村昌彦会長、県ハイヤー・タクシー協会の西村芳通専務理事、県個人タクシー協同組合の和田俊夫理事長が出席。島泰弘交通部長が参加者にステッカーを手渡した。

島交通部長は「歩行者に優しい和歌山」の実現に向け、事業用車両にステッカーを貼っていただき、一般ドライバーの模範として率先して横断歩行者優先に取り組んでいただきたい」と話した。

交通企画課によると、4月末時点での横断歩道上での交通事故は18件あり、そのうち、2件の死亡事故があったという。

ステッカーを貼る運輸関係者



贈呈されたステッカー

森氏が女性初の副議長に就任

議会議長に岸本氏

議長選で有効投票42票中42票を集めた岸本氏は「心より感謝申し上げます。一

は藤本眞利子氏（改新クラブ）で12票だった。

森氏は「ふるさと

31日まで作品募集中

第68回 和歌山市美術展覧会

和歌山市と市文化スポーツ振興財団が芸、いけ花の7部門

道、写真、彫塑、工

は所定の釈文を添付

まで。平面作品は縦160㌢×横100㌢以内。いけ花は高さ200㌢、間口90㌢、奥行き90㌢以内。他の展覧会に出品しておらず、単独で制

につき1500円、招待・審査員区分は1000円。22歳以下は無料。

申し込みは、事前申込書に必要事項を記入して郵送かファ